

公 告

分任契約担当官
陸上自衛隊北熊本駐屯地
第392会計隊長 秋吉 裕之

記

1 競争入札に付する事項

- (1) 件 名 等：使用済車両売払い（装輪車両）
- (2) 規 格 ・ 数 量：別紙内訳書のとおり
- (3) 引 渡 し 場 所：陸上自衛隊北熊本駐屯地
- (4) 引取（引渡し）期限：代金納付の日から5日以内（令和8年7月31日までに搬出）
- (5) 代 金 納 付 期 限：令和8年7月31日（金）
- (6) 履 行 期 限：引渡しを受けた日から3ヶ月以内

2 競争に参加する者に必要な資格に関する事項

- (1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。
- (3) 令和7・8・9年度の全省庁統一競争参加資格「物品の買受け」C等級以上の格付を有し、「九州・沖縄地域」に競争参加資格を有する者。なお自動車リサイクル法に基づく引取り業者であり、各都道府県等登録業者であること。また契約担当官等から指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (4) 大臣官房衛生監、防衛政策局長、防衛装備庁長官及び陸上幕僚長から「装備品等及び役務の調達に係る指名停止等の要領」に基づく指名停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (5) 前号により現に指名停止を受けている者と資本関係又は人的関係のある者であつて、当該者と同種の物品の売買又は製造若しくは役務請負について防衛省と契約を行おうとする者でないこと。
- (6) 原則、現に指名停止を受けている者の再委託については認めない。ただし、真にやむを得ない事由を該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りではない。
- (7) 使用済自動車の再資源化等に関する法律（平成14年法律第87号）（以下「自動車リサイクル法」という。）第42号第1項に規定する「引取業者の資格」、同法第53条第1項に規定する「フロン類回収業者の資格」、同法第60条第1項に規定する「解体業者の資格」及び同法第67条第1項に規定する「破碎業者の資格」の4資格を有し、かつ自動車リサイクル法第31条第1項に規定する全部再資源化の業務を実施する共同事業体（以下「受託共同事業体」という。）に所属する自動車リサイクル法第31条第1項に規定する解体業者又は破碎業者（以下「全部再資源化事業者」という。）であつて、自らが受託共同事業体であり、受託共同事業体を構成する事業者の一覧を示した書類を提出し、契約担当官等の承認を受けた者。また、自動車リサイクル法第31条第1項に規定する全部再資源化により入札の公告日から過去3年間に100台以上の自動車を処分した実績があり、公告日から最近100台分の全部再資源化によって処分した自動車の処理台数を示す書類を提出し、官側の確認を受けた者。なお、一連の書類の提出期限は令和8年6月1日（月）12時00分までとする。あわせて資格審査結果通知書（写し）についても提出すること。
- (8) 官側は、受託共同事業体を構成する事業者の中に、過去の自衛隊専用自動車等の解体・破碎及び売払い等に係る契約において、解体証明書、破碎証明書、その他の契約の履行を確認するために提出を求められた書類が履行期限を超えて未提出の状態である者（以下「未提出者」という。）がいまいかを確認した上で承認する。
- (9) 官側は、受託共同事業体を構成する事業者に未提出者がいる場合は入札参加を承認しない。ただし、入札参加者が期限までに受託共同事業体を構成する事業者の一覧を再提出し、その中に未提出がいまいかを確認した場合は、契約担当官等は入札参加を承認する。
- (10) 当該自動車の輸送を除き、再委託は一切認めない。自動車の輸送を再委託する場合は、入札時までに入札及び契約心得に従い、入札及び契約心得（駐屯地用）別紙様式第16-1「再委託承認申請（届出）書」（以下「再委託承認申請書」という。）を提出し、契約担当官等の承認を受けるものとする。なお、再委託に関する書類の提出期限は、(7)の書類と同じく令和8年6月1日（月）12時00分までとする。再委託承認申請書には中小受託事業者の連絡先及び担当者名を記載するものとし、官側は再委託承認申請の承認にあたって、再委託承認申請書に記載された中小受託事業者に電話等により再委託の事実を確認し、確認ができなかった場合は当該再委託を承認しない。再委託に対する

電話等による確認は、令和8年6月3日（水）17時00分までに実施する。

3 契約条項等を示す場所

- (1) 契約条項並びに「入札及び契約心得」掲示場所
陸上自衛隊北熊本駐屯地、西部方面隊ホームページ
(ホームページアドレス <https://www.mod.go.jp/gsdf/wae/info/nyusatu/wa-fin/index.htm>)
- (2) 公告掲示場所
陸上自衛隊北熊本駐屯地、西部方面隊ホームページ

4 入札説明会

入札説明会は実施しない。ただし必ず事前に現場確認を実施するものとし、令和8年5月14日～令和8年5月29日（平日8時30分から17時00分）、希望日の2日前までに担当者（第15項に示す者）に連絡することとし、個別に対応することとする。

5 競争入札の場所及び日時

- (1) 場 所：陸上自衛隊北熊本駐屯地 第392会計隊 入札室
- (2) 日 時：令和8年6月5日（金）10時30分

6 落札決定方法

総額が、当隊所定の予定価格を超えた最高額入札者を落札者とする。なお、落札者となるべき最高入札者が2人以上の場合はくじ引きにより落札者を決定する。総額が予定価格に達しない場合は、再度入札を実施する。郵便等が含まれている場合の再度入札の時期は別途連絡する。

7 保証金に関する事項

- (1) 入札保証金：免 除
ただし、落札者が契約を締結しない場合は、落札金額の100分の5以上を違約金として徴収する。
- (2) 契約保証金：免 除
ただし、契約者が契約上の義務を履行しない場合は、落札金額の100分の10以上を違約金として徴収する。

8 入札の無効

- (1) 入札参加資格のない者が行った入札。
- (2) 入札金額、入札者氏名及び押印が判明し難いもの。
- (3) 電話・電報・FAXによる入札。
- (4) 暴力団排除に関する誓約に虚偽があった場合、又は暴力団排除に関する誓約に反する事態が生じた場合。
- (5) 現場確認を行っていない者が行った入札。
- (6) 自動車輸送を委託する場合で、再委託承認申請(届出)書を承認されていない者が行った入札。
- (7) その他入札に関する条件に違反した入札。

9 契約書等の作成

- (1) 特に示された場合を除き、落札者は落札決定後遅滞なく「駐屯地用標準契約書」の様式により契約書を作成する。
- (2) 適用する契約条項及び特約条項
「不用物品売払契約条項」
「談合等の不正行為に関する特約条項」
「暴力団排除に関する特約条項」
「売払い物品の解体に関する特約条項」
(第1条の表中、「番号」を「車台番号」に、第3条を「第1条に掲げる売払い物品の所有権は、乙が甲に対して解体及び破碎の完了を届け出て、甲が承認したときをもって甲から乙に移るものとする。」として使用する。)

10 損害賠償請求等

- (1) 自衛隊車両を転売して一般市場に流通させた場合又は外装部品を転売して自衛隊車両と同様の外観を有する車両を一般市場に流通させるに至った場合は、契約金額の100分の10に相当する金額の違約金を徴収するとともに、実際の損害の額が違約金の額を超過する場合には、超過分の損害につき賠償を請求する。また、一般市場に流通させるに至らなかった場合でも、その未遂があった場合には、契約金額の100分の10に相当する金額の違約金を徴収する。

- (2) 解体証明書及び破砕証明書が履行期限を過ぎても未提出あるいは遅れて提出された場合、並びに、証明書に虚偽の記載があることが判明した場合は契約金額の100分の10に相当する金額の違約金を徴収する。
- (3) 契約違反が認められた場合は、指名停止措置の上申をとり、厳正に対処する。

11 入札書に関する事項

- (1) 日付については、入札日を記入すること。
- (2) 入札等参加者心得を確認した上で「(当社、私、当団体)は入札心得に定める暴力団排除に関する事項について誓約いたします。」と余白に記入すること。記載がない場合は、競争参加者等として認めない。
- (3) 入札書は消費税抜きの金額を記入すること。

12 事前提出書類

- (1) 提出期限
令和8年6月1日(月) 12時00分
- (2) 提出書類
 - ア 第2項(7)及び(10)で示す書類。(輸送の再委託を実施しない場合、(10)については不要。)
 - イ その他、官側が必要に応じて提出を依頼する書類。

13 その他

- (1) 入札を代表者以外の方に委任する場合は、入札前に委任状を提出すること。
- (2) 郵便により入札に参加する場合は、送付用封筒に必ず「(入札日時及び入札件名 入札書在中)」の記載をし、令和8年6月4日(火) 17時00分までに必着するように「書留」で郵送すること。この際、送達した旨の連絡を担当者へ行うこと。
- (3) 市価調査回答書(下見積書)を令和8年6月2日(火) 17時00分までに提出すること。
- (4) 入札日当日(郵便入札があった場合)に不調となり再度入札を行う場合は、別に示す。なお、再度入札を執行する場合は、初度入札者にその旨を通知する。
- (5) 当該売払車両の部品を輸出する場合は、輸出貿易管理令に基づき経済産業大臣の許可が必要である。
- (6) 当該車両については、事前処置で破壊処置を実施しているため、公道の自走不可である。
- (7) 所有権移転の時期は仕様書4.1に示す提出書類の提出が完了した時期とする。
- (8) 積算資料等の提出に応じていただけない場合又は不十分な場合は、その旨説明を求める可能性があります。
- (9) 積算資料等の提出・説明に応じない場合又は不十分な場合は、「契約の内容に適合した履行がなされないおそれがある」ものとして落札者とし、ない可能性があります。

14 入札及び契約に関する問い合わせ先

〒861-8529

熊本市北区八景水谷2丁目17番地1号

陸上自衛隊北熊本駐屯地第392会計隊契約班 担当：楠元

TEL 096-343-3141(内線3182) FAX 096-344-8807

メールアドレス：392fin-wafin-wa@inet.gsdf.mod.go.jp

15 仕様書及び現物確認に関する問い合わせ先

陸上自衛隊北熊本駐屯地業務隊補給科補給班 担当：牟田

TEL 096-343-3141(内線3378)

内 訳 書

番号	品 名	規 格	単 位	数 量	保管場所
使用済車両売払い（装輪車両）					
（ 内 訳 ）					
1	鉄屑	鋳物	kg	15,400.80	廃車置場
2	〃	H 2	〃	19,786.10	〃
3	〃	H 3	〃	26,262.40	〃
4	〃	H 4	〃	6,412.70	〃
5	銅屑	上	〃	3.70	〃
6	〃	中	〃	199.60	〃
7	〃	下	〃	41.50	〃
8	真鍮	真鍮	〃	26.50	〃
9	〃	鋳物	〃	30.80	〃
10	アルミ屑	並	〃	1,245.20	〃
11	鉛屑		〃	530.20	〃
12	ガラス		〃	649.00	〃
13	ゴム		〃	4,048.10	〃
14	未価値品		〃	5,403.40	〃
		以下余白			
合 計				80,040.00	

廃車売払一覧表 令和8年度 第3回

No	自動車番号	品名・形式・形状	車台番号	リサイクル券番号
1	34-0037	3 1/2t トラック・6×6 SKW475 いすゞ	SKW475-7000395	0104 - 0019 - 8313
2	34-0020	3 1/2t トラック・6×6 SKW475 いすゞ	SKW475-7000362	0104 - 0020 - 4410
3	34-0361	3 1/2t トラック・6×6 SKW476 いすゞ	SKW476-7000570	0104 - 0019 - 9314
4	34-0360	3 1/2t トラック・6×6 SKW476 いすゞ	SKW476-7000569	0104 - 0020 - 5211
5	34-1038	3 1/2t トラック・6×6 SKW476 いすゞ	SKW476-7001996	0104 - 0020 - 4694
6	34-0388	3 1/2t トラック・6×6 SKW476 いすゞ	SKW476-7000616	0104 - 0020 - 5222
7	03-6389	1/2t トラック(指揮・連絡用)・三菱V16BBRSFA	V16-7400631	0104 - 0041 - 7912
8	03-5251	1/2t トラック(指揮・連絡用)・三菱V16BBRSFA	V16-7200387	1104 - 0042 - 0653
9	03-5249	1/2t トラック(指揮・連絡用)・三菱V16BBRSFA	V16-7200385	1104 - 0042 - 0644
10	03-5337	1/2t トラック(指揮・連絡用)・三菱V16BBRSFA	V16-7200492	1104 - 0042 - 0710
11	03-5335	1/2t トラック(指揮・連絡用)・三菱V16BBRSFA	V16-7200490	1104 - 0042 - 0703
12	03-5332	1/2t トラック(指揮・連絡用)・三菱V16BBRSFA	V16-7200487	1104 - 0042 - 0691
13	01-9476	1/2t トラック(指揮・連絡用)・三菱V16BBRSFA	V16-7000363	1104 - 0042 - 0431
14	07-6149	1 1/2t トラック・トヨタBXD30	BXD30-0001978	0404 - 0058 - 6492
15	07-6721	1 1/2t トラック・トヨタXCD30	XCD30-0001390	0404 - 0058 - 6676
16	37-1403	3 1/2t トラック(作業装置付き)・SKW464 いすゞ	SKW464-30002014	0104 - 0020 - 5402

	廃車売払車両内訳	数 量
1	3 1/2t トラック・SKW475 いすゞ	2
2	3 1/2t トラック・SKW476 いすゞ	4
3	1/2t トラック(指揮・連絡用)・三菱V16BBRSFA	7
4	1 1/2t トラック・トヨタBXD30	1
5	1 1/2t トラック・トヨタXCD30	1
6	3 1/2t トラック(作業装置付き)・SKW464 いすゞ	1
	車 両 総 数	16

調達要求番号：

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書		
物品番号		仕 様 書 番 号
使用済自動車（装輪車両）の売払い	G V - Z 0 0 1 0 1 4	
	防衛大臣承認	年 月 日
	作 成	令和8年3月5日
	変 更	
	作成部隊等名	補給統制本部 火器車両部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊において実施する使用済自動車の売払いについて規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、次によるほか、G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1による。

1.2.1

使用済自動車

陸上自衛隊で不用となった車両をいう。

1.2.2

売払い自動車

不用の決定をした後、この契約の相手方に対し、当該自動車の全部を解体、プレス、せん断などをして鉄鋼の原料として解体自動車全部利用者に引渡すことを義務づけて売払いをする使用済自動車をいう。

1.2.3

自動車リサイクル券

“使用済自動車の再資源化等に関する法律”（以下、自動車リサイクル法という。）第73条に規定する再資源化預託金等の構成要素を含んだものをいう。

1.2.4

解体・破碎

自動車リサイクル法に規定される解体工程及び破碎（溶解を含む。）工程をいう。

1.2.5

全部再資源化

A S R（シュレッダーダスト）を生じさせない方法での再資源化であり、自動車メーカーなどが全部再資源化事業者（解体業者及び破碎業者）に委託し、合理的な解体などを行うことによって、解体自動車全部利用者（国内の電炉及び転炉業者）がその解体をされた自動車を鉄鋼の原料として利用可能な状態にすることをいう。この制度によって、自動車メーカーなどは、預託金から全部再資源化事業者にその費用を支払うことが可能な制度である。

1.2.6

コンソーシアム

解体業者、プレス・せん断処理業者及び鉄鋼メーカーと必要に応じてそれらを取りまとめる商社などが加わり、自動車リサイクル法第31条第1項に規定する全部再資源化の業務を実施する共同事業体であり、同項の規定に

基づき、自動車製造業者等の審査を受けた上で全部再資源化の業務の実施に係る契約を締結し、経済産業大臣及び環境大臣から認定を受けた受託共同事業体をいう。

1.2.7

解体自動車全部利用者

自動車リサイクル法第16条第4項に規定する解体自動車全部利用者をいい、コンソーシアムに所属し、売払い自動車の全部を鉄鋼の原料として利用する事業を国内において行う者をいう。

1.2.8

全部再資源化事業者

自動車リサイクル法第31条第1項に規定する解体業者又は破砕業者であり、コンソーシアムに所属し、合理的な解体等を行うことによって、解体自動車全部利用者がその解体をされた自動車を鉄鋼の原料として利用可能な状態（スクラップ）にする事業を実施する解体業者又は破砕業者をいう。

1.3 引用文書等

1.3.1 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 仕様書

GLT-CG-Z000001 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

b) 法令等

使用済自動車の再資源化等に関する法律（平成14年法律第87号）

使用済自動車の再資源化等に関する法施行令（平成14年政令第389号）

使用済自動車の再資源化等に関する法律施行規則（平成14年経済産業省・環境省令第7号）

入札及び契約心得〔陸幕会第317号（27.3.5）別冊第1〕

1.3.2 関連文書

不用決定した物品（供与品を除く。）の売払いについて（通達）〔陸幕4第275号（44.10.1）〕

2 売払いに関する要求

2.1 一般的要求事項

一般的要求事項は、次による。

- a) 契約の相手方は、自動車リサイクル法第42条第1項に規定する引取業者の資格をもち、かつコンソーシアムに所属する全部再資源化事業者であって、入札開始前までに自らがコンソーシアムに所属する事業者であり、コンソーシアムを構成する事業者の一覧を示した書類を提出し、官側の確認を受けた者でなければならない。
- b) 契約の相手方が所属するコンソーシアムを構成する各事業者は、過去の自衛隊専用自動車などの解体・破砕及び売払いなどに係る契約において、解体証明書、破砕証明書、その他の契約の履行を確認するために提出を求められた書類が履行期限を超えて未提出の状態である者であってはならない。
- c) 契約の相手方は、自動車リサイクル法第31条第1項に規定する全部再資源化によって入札の公告日から過去3年間に100台以上の自動車を処分した実績があり、入札開始前までに公告日から最近100台分の全部再資源化によって処分した自動車の処理台数を示す書類を提出し、官側の確認を受けた者でなければならない。

- d) 契約の相手方は、売払い自動車を引取った後、フロン類及び指定回収物品を回収し、売払い自動車の全部を解体、プレス・せん断などをして鉄鋼の原料として解体自動車全部利用者に引渡すに当たり、当該自動車の輸送を除き、解体自動車全部利用者に引渡すまでの一切の業務について、下請負させることなく契約相手方において実施する。
- e) 契約の相手方は、エンジン、ドア、タイヤ及びホイール並びに荷台その他の囲いをもつ積載装置及びトラッククレーンその他の特殊の用途にのみ用いられる自動車に当該自動車と一体として装備する特別な装備についても、再利用不可能なように破砕及び圧縮などの処理を行うほか、部品の如何を問わず市場に流出してはならない。電線などの銅製品を取り外し、鉄鋼の材料としてのみ利用する目的で解体自動車全部利用者に引渡す。

なお、このために必要な機材、作業員などは、契約の相手方が用意する。

- f) 契約の相手方は、売払い自動車を解体する作業において、**表1**に示す作業前、作業中及び作業後の写真を撮影するとともに、売払い自動車の引渡しから3か月以内に作業前、作業中及び作業後の写真を官側に提出する。また、プレスに投入する直前からこれが破砕及び圧縮されるところまでを途切れなく1つの動画で撮影するものとする。

なお、動画撮影開始時からプレスに投入する直前までは常にボデー（ボンネット、キャビン前面及び左右ドア）に記載された車体番号が明瞭に確認可能とし、記録したデータは、5年以上保管するとともに、必要に応じて官側の指示によって提出する。この際、提出する写真及び動画はPDFデータ、DVDなどの自衛隊の情報保全に抵触しない記憶媒体とし、官側と調整をする。

- g) 官側は、**d)～f)**の実施状況について契約満了後も含め必要に応じて立ち入り調査を実施可能とし、契約の相手方は官側から立ち入り調査の実施を通知された場合、これを受け入れなければならない。

2.2 引渡し

引渡しは、次による。

- a) 契約の相手方は、売払い自動車の引渡しの段階で、受領書を官側に提出する。
なお、売払い自動車の所有権は、**4.1**の提出書類全ての提出が完了するまで官側に留保する。
- b) 売払い自動車の引渡しの際に必要な機材、作業員などは、契約の相手方が用意する。
- c) 契約の相手方は、売払い自動車の引渡しに際し事故防止に万全を期さなければならない。
- d) 搬出・搬入は、官側が別途示す場所において行う。

2.3 自動車リサイクル券の手続き

契約の相手方は、売払い自動車に添付された自動車リサイクル券について自動車リサイクル法に基づき、使用済自動車として適正な処理手続きを行う。

2.4 転売の禁止事項

契約の相手方は、売払い自動車について、**2.1**に示す作業を実施して、鉄鋼の原料として利用し、エンジン、ドア等部品の如何を問わず市場に流出させてはならない。当該部品が一般市場に流通した場合（未遂を含む。）は、契約担当官は、契約の相手方に対し損害賠償を請求する。

2.5 売払い自動車の処理要領

売払い自動車の処理要領は次による。

- a) 契約の相手方は、売払い自動車の引渡しを受けた日から3か月以内に、**2.1**に示す処理を実施する。
- b) 契約の相手方は、解体自動車全部利用者への引渡しの完了後、**表1**に示す引渡証明書の写しを提出する。

- c) 契約の相手方は、売払い自動車の個体識別・管理を確実に実施し、解体自動車全部利用者に引渡した内容及びスクラップの量を表1に示す解体自動車全部利用者に引渡した荷姿詳細情報及び検収書の写しの提出をもって報告する。

3 品質保証

監督及び検査は、契約担当官等が定める監督・検査実施要領による。

4 その他の指示

4.1 提出書類

提出書類は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、表1による。

4.2 官側の支援

契約の相手方は、売払い自動車の処理の作業において、官側の支援を必要とする場合は、事前に協議のうえ、次の事項について支援を受けることが可能である。

- a) 自衛隊などの敷地への立ち入りに関する事項
- b) 売払いのため、最低限の図面の貸出し又は閲覧に関する事項

4.3 安全管理

売払いの作業は、安全管理に万全を期する。

4.4 売払いに関する保全

売払いに関する保全は、次による。

- a) 契約の相手方は、4.2 b)で貸出し又は閲覧した図面について、提出書類とする場合を除き、複製してはならない。また、売払い後確実に監督官へ返却しなければならない。
- b) 契約の相手方は、売払いの履行に当たり直接又は間接にかかわらず知り得た事項を漏えい、別途利用及びその他への公表をしてはならない。また、この契約終了後も同様とする。

4.5 その他

その他は、次による。

- a) 契約の相手方は、官側の施設及び機材、物品などに損傷を与えた場合は、速やかに契約担当官等と協議する。
- b) 契約の相手方は、履行期間の延長を必要とする場合は、契約担当官等と協議する。
- c) コンソーシアム内で生じた問題、紛争などについては、契約の相手方の責任及び負担で解決する。

4.6 仕様書に関する疑義

この仕様書に関する疑義は、GLT-CG-Z000001の8.3による。

表1－提出書類

番号	品名	数量	提出先	提出時期	摘要
1	引取業者として登録を示す書類	1	a)	入札開始前までに	自動車リサイクル法第42条第1項の登録を受けていることを示す書類
2	自動車リサイクル法第31条第1項に規定する全部再資源化によって入札の公告日から過去3年間に処分した自動車の処理台数を示す書類				検収伝票及び当該検収伝票に対応する自動車リサイクルシステムから出力される荷姿詳細情報
3	コンソーシアムを構成する事業者の一覧				経済産業省のホームページ上で公開されている事業者リスト
4	誓約書			契約締結後速やかに	図1による。
5	受領書			売払い自動車の引渡し時	G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1 の図8による。
6	細部実施要領書			契約締結後速やかに	図2による。
7	作業前，作業中，作業後の写真			売払い自動車の引渡しから3か月以内	図3によるほか，自動車引受け時，重機などでの解体中及びスクラップ後の写真の3点とする。また，作業前及び作業中の写真には車台のボデー（ボンネット，キャビン前面及び左右ドア）に記載されている車台番号が視認可能な形で撮影する。
8	引渡証明書の写し				売払い自動車の引渡しから解体自動車全部利用者への引渡しの完了までの物流において，この契約の履行に携わった全ての事業者間での引渡しを証する書面の写し
9	解体自動車全部利用者に引渡した荷姿詳細情報				自動車リサイクルシステムから出力される荷姿詳細情報
10	検収書の写し				解体自動車全部利用者によって発行されたスクラップの質量を示す証書
注 ^{a)} 提出先は，調達要領指定書によって指定する。					

誓約書

当社は、本仕様書で定められている提出書類を期日までに提出し、官からの立ち入り調査の要請があった場合は受け入れます。また、受領した売払い自動車を解体した際に生じた部品は再利用できないように破碎及び圧縮などの処理をし、部品の如何を問わず市場に流出させず、電線などの銅製品を取り外した上で、鉄鋼の原料としてのみ利用いたします。なお、本仕様書の内容に違反した場合は当該対処等に要した官側費用の全額を賠償する他、指名停止処分及び入札参加資格停止処分が行われても異議ありません。

年 月 日
株式会社
代表者名 (自 署)

図1－誓約書の様式

細 部 実 施 要 領 書

分任契約担当官

陸上自衛隊〇〇駐屯地

〇〇 〇〇 殿

住 所

会社名

代表者名

件名：使用済自動車（装輪車両）の売払い

搬出場所：〇〇駐屯地

1 解体作業場所

2 引取り日（搬出日）

3 解体受け車種、車台番号及び両数

4 解体作業内容

5 破碎作業内容

図2－細部実施要領書の様式

1 作業前（自動車引き受け時）

車体に記載されている車台番号が視認可能な状態



2 作業中（重機などでの解体中）

車体に記載されている車台番号が視認可能な状態



3 作業後（スクラップ後）



図3ー作業前，作業中及び作業後の提出写真（一例）

調 達 要 領 指 定 書	発 簡 番 号	売払要求番号 第 4 号				
	調 達 要 求 番 号					
	調達要求年月日	令和8年4月21日				
	作 成 部 課	北熊本駐屯地業務隊補給科				
	作 成 年 月	令和8年4月21日				
品 名	使用済車両売払い					
仕 様 書 番 号	GV-Z001014					
指定事項						
1 売払い						
1.1 売払い車両						
番号	品 目	型 式	単位	数量	備 考	
1	3 1／2 t トラック	6×6 SKW475	台	2		
2	3 1／2 t トラック	6×6 SKW476	台	4		
3	1／2 t トラック（指揮・連絡用）	V16	台	7		
4	1 1／2 t トラック	BXD30	台	1		
5	1 1／2 t トラック	XCD30	台	1		
6	3 1／2 t トラック（作業装置付き）	SKW464	台	1		
1.2 現地（物）確認						
現地（物）確認は、公告掲載日翌日から入札前日までの間の平日0830から1200、1300から1700までの間とし、現地確認予定日の2日前までに契約担当官へ通知するものとする。						
1.3 代金の引渡し						
解体作業開始前に納付するものとし、納付以降、各作業を開始（5日以内に搬出）する。						
2 売払いに関する要求						
一般的要求						
仕様書（GV-Z001014）に定めるとおりとする。						
3 提出書類						
3.1 仕様書（GV-Z001014）表1に示す書類及び使用済自動車引取証明書（様式は、図1による。）を提出する。						
提出先は、北熊本駐屯地業務隊補給科とする。						
3.2 関連企業確認						
契約相手方について、関連企業と同作業をする場合については、関連企業を含む名簿提出とする。提出先は、北熊本駐屯地業務隊補給科とする。						
3.3 引渡し						
車両解体作業における引渡しは、不用物品売払要求書に示す日を基準とし、申請期間を考慮して入札日から最大2ヶ月以内の期間内においてその時期・場所を決定する。						
3.4 解体作業場所（解体による使用区域）						
車両解体作業を行う場所については、契約相手側及び下請け業者の敷地内とする。						

3.4.1 搬出作業時間

平日0830～1700までの間とし、1200～1300は作業を中断する。休日に作業を希望する際は、申請時に申し出るものとする。

3.4.2 作業開始の状態

廃車置場から解体作業場所までの移動及び解体については、契約相手側の責任により実施するものとする。

3.4.3 必要な器材の携行

契約の相手方は、当該作業に必要な器材の官側への借用要求はしないことを基本とする。

3.4.4 作業確認

写真による記録を必要とする際、当該作業状況を写真により記録する。この他、官側（監督官）が撮影による記録を必要とした場合はこれに応じるものとする。

3.4.5 廃油等

廃車置場での作業及び車両の移動、解体に伴い発生する廃油等は契約相手側が処分するものとし、一時保管場所として官側が指定する場所に保管する。この際、契約相手側は油を流出させないように処置を万全にするとともに、油吸着マットや除去スプレー等を携行する他、流出した際の処置については契約相手側の責任とする。

3.4.6 ごみ

搬出作業で発生したごみについては、契約相手側が持ち帰るものとする。

4 品質保証

仕様書（GV-Z001014）を基本とし、当該仕様書に合致しない場合は、是正を作業により要求を満たす。

5 その他の指示

5.1 提出書類

5.1.1 仕様書（GV-Z001014）の4.1に示すとおりとし、遅滞なく届け出るものとする。遅滞した場合については、契約相手方の補償のもと当該書類の引継ぎ行為を行う。

5.1.2 仕様書（GV-Z001014）表1に示す書類及び使用済自動車引取証明書（様式は、図1による。）を提出する。提出先は、契約担当官とし、写しを北熊本駐屯地業務隊補給科補給班に提出する。

5.2 安全管理

契約相手方においても安全責任者を指名し、官側の安全責任者の安全に対する要求を理解・遵守し、作業に臨むものとする。安全に対する要求に従わなかった場合は、契約不履行とみなす。

5.3 売払いに関する保全

駐屯地内に関する保全のため、作業場所以外への立ち入りや写真撮影は禁止する。作業の一時中断間においても、同様とする。

5.4 調整先

a) 契約（書類関連）に関する調整

北熊本駐屯地 第392会計隊

b) 下見・日程調整・搬出（実務）に関する調整

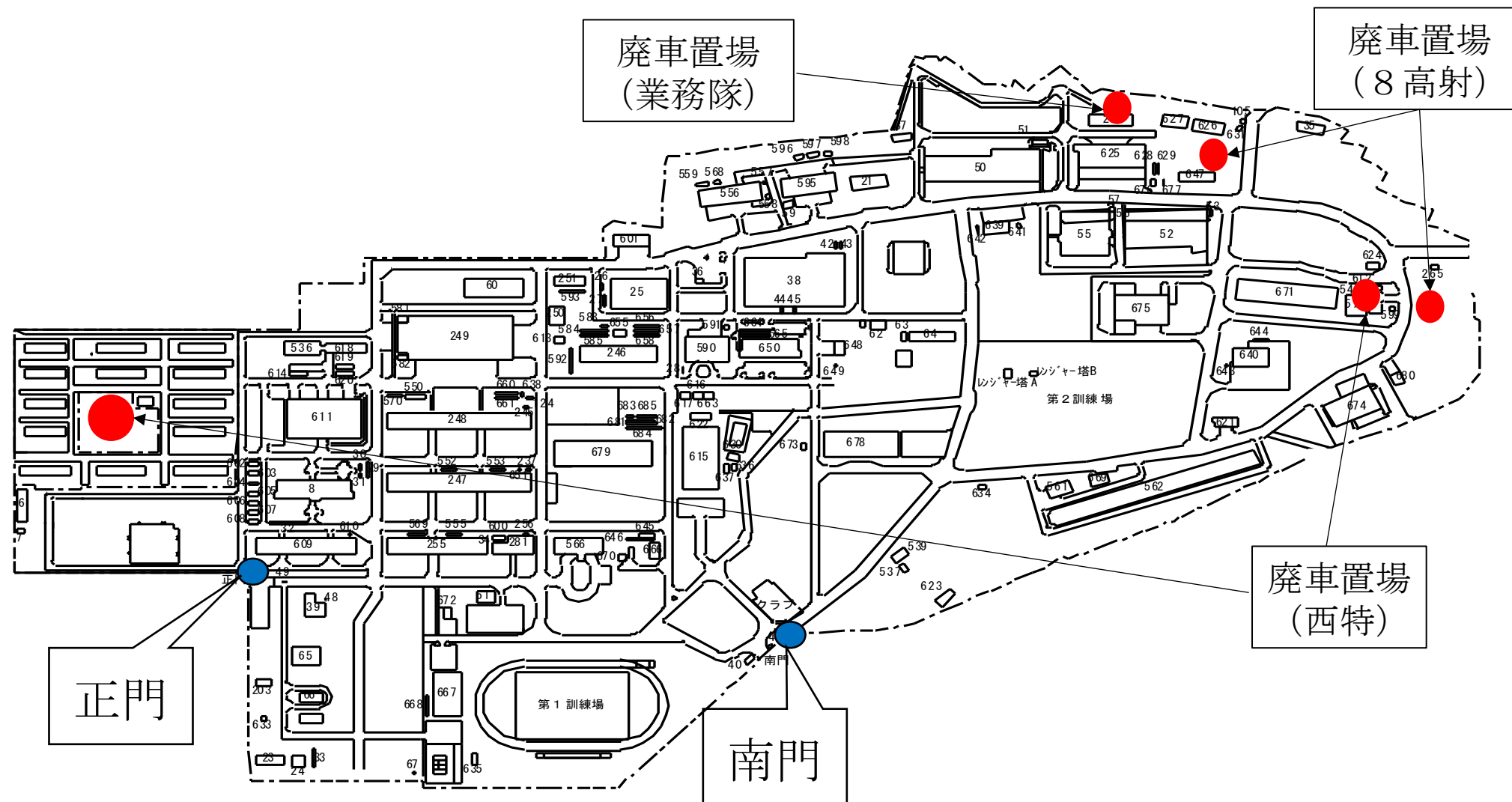
北熊本駐屯地業務隊補給科

使用済自動車引取証明書

1	使 用 部 隊 名		
2	リ サ イ ク ル 券 番 号		
3	車 台 番 号		
4	車 名 (車 両 番 号)		
5	預 託 金 額 (円)		
6	引 取 業 者	登 録 番 号	印
		氏 名	
		事 業 所 名 称	
		所 在 地	
		電 話 番 号	
7	引 取 年 月 日		

図 1－使用済自動車引取証明書の様式

北熊本駐屯地売却車両置場集積場所



入札書

令和8年6月5日

分任契約担当官
陸上自衛隊北熊本駐屯地
第392会計隊長 秋吉 裕之 殿

入札金額 ￥ (税抜)

「入札及び契約心得」及び「標準契約書等」の契約条項等を承諾の上、入札致します。
当社(当団体)は、入札心得に定める暴力団排除に関する事項について誓約いたします。

件 名:使用済車両売払い(装輪車両)

引取期限:令和8年7月31日(但し、代金納入後5日以内)

引渡場所:陸上自衛隊北熊本駐屯地

(入札者)

住 所

会 社 名

代表者名

担当者名

連 絡 先

(注)押印を省略する場合には担当者名及び連絡先を記載すること。

市価調査回答書

令和 年 月 日

件名:使用済車両売払い(装輪車両)

住 所
社 名
代表者名
担 当 者
連 絡 先

1 鉄屑等価格 (単位:円)

No	品 名	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額
1	鉄 屑	鋳物	kg	15,400.80		
2	〃	H2	kg	19,786.10		
3	〃	H3	kg	26,262.40		
4	〃	H4	kg	6,412.70		
5	銅 屑	上	kg	3.70		
6	〃	中	kg	199.60		
7	〃	下	kg	41.50		
8	真 鍮	真鍮	kg	26.50		
9	〃	鋳物	kg	30.80		
10	ア ル ミ 屑	並	kg	1,245.20		
11	鉛 屑		kg	530.20		
12	ガ ラ ス		kg	649.00		
13	ゴ ム		kg	4,048.10		
14	未 価 値 品		kg	5,403.40		
①	総重量・価格 (1~14)		kg	80,040.00		【小計】

2 各種諸経費等費用

A	解 体 費		式	1		△
B	輸 送 費		式	1		△
C	荷 役 費	積込・荷卸作業	式	1		△
D	未価値品処理費		式	1		△
E	諸 経 費		式	1		△
②	諸経費合計 (A～E)					【小計】△
差 引 額 (①－②)(小数点以下切捨)						【合計】

A 解体費内訳

No	項 目	単 位	金 額
1	解体費(切断・溶断)	1 式	
2	解体作業労務費	名 時間	

B 輸送費内訳

北熊本駐屯地 ~業者搬入場所	車 両	t車	輸送距離	km	総 重 量(kg)
	延べ台数	台	単価(1台当り)	円	80,040.00

C 荷役費内訳

北熊本駐屯地 ~業者搬入場所	積込作業	名	時間	荷卸作業	名	時間
-------------------	------	---	----	------	---	----

1 輸送費は駐屯地から業者搬入場所までの使用車両、台数、概算の距離及び金額を記入。

2 未価値品は買取できる場合のみ金額を記入。

3 消費税は含まない。

提出期限: 令和8年6月2日(火)17:00(FAX可)